

青翔中だより

12月号 平成28年12月21日 苫小牧市立青翔中学校



教育目標
～自立～
～貢献～
～創造～

頑張れる自分になるために

終業式でのメッセージ (12/21)

苫小牧市立青翔中学校長 中川 恵介

今年も残すところあと10日となりました。皆さんにとっては、今年一年は、さて、どんな年だったでしょうか？

明日から25日間の冬休みに入りますが、それぞれの学年にとっては、大変重要な冬休みとなります。

3年生にとっては、3月7日の公立高校入試まであと74日となりました。残された期間の3分の1が冬休みです。そう考えると、この冬休みがどれ程重要かは自ずと理解できると思います。

また、2年生や1年生にとっては、授業が行われないことから、今の学年の学習の振り返りやまとめを行う絶好の機会です。

しかし、やらなければならないことは頭で分かっている、なかなかそれを実行できないという人は、少なくないと思います。

では、どうすれば実行できるのか？それは、自分自身のことをどれくらい主体的に、そして真剣に考えられるかにかかっていると私は思います。

ウィリアム・ジェイムズというアメリカの心理学者、哲学者がいました。彼はもう100年ほど前に亡くなっていますが、生前、彼は次のような言葉を残しています。

考えが変われば意識が変わる。
意識が変われば行動が変わる。
行動が変われば習慣が変わる。
習慣が変われば人格が変わる。
人格が変われば運命が変わる。
運命が変われば人生が変わる。

という言葉です。逆の言い方をすれば、意識や行動や習慣を変えなければ、考え方を変えなければならないということです。

「今、ここで頑張らずに、いつ頑張る」

というお話を1学期の始業式にしましたが、頑張れる自分になれるかは、君たちの考え方にかかっています。

人間は、高度な脳をもった生物です。脳には約140億個の神経細胞があります。どんなに考えても、パソコンのように人間の脳は固まってしまうことはありません。よく考えながら、この冬休みを過ごして下さい。

そうは言っても、クリスマスやお正月など、君たちにとっても楽しいことがたくさんあると思いますので、切り替えやけじめをしっかりと付けることが大切です。

交通事故などに注意して、来年の1月16日にみんな元気な顔でまた会いましょう。

【1学期の始業式でのメッセージ】

私が高校生の時に、その後の人生で大きな影響を受けた先生からかけられた言葉は、今でも私の心の中に残っています。それは、「**今、ここで頑張らずに、いつ頑張る**」という言葉です。

中学校の3年間は、思いのほか早く過ぎていきます。時間に流されるか、それとも自分の力で時を刻んでいくか、それは君たち次第です。今、学ぶべきことや今、身に付けなければならないことは、今しかできないのです。まさに「今、ここで頑張らずに、いつ頑張る」、4月のスタートに当たって、君たちにこの言葉を贈ります。

校内美化活動

12月5日(月)の放課後に、校内美化活動(ボランティア清掃)が行われました。

今年度は、卒業前の奉仕活動として、3年生からおよそ100名のお手伝いがありました。



廊下や階段、掃除用工具箱や下駄箱・体育館など、普段はなかなかきれいにできない場所を中心に、清掃活動に精を出してくれました。

参加者からは「こんなに汚かったんだ!」「きれいになった!」「汚れを落とすと気持ちがいい!」などの声がありました。

8年経っても、「青翔中学校は、いつでもピカピカ!」そう胸を張って言えそうです。



学校生活を見つめ直す ～全校道徳(全校集会)～



12月13日(火)、本年度2回目の生徒会主催による全校道徳が行われました。「いじめ」、「公共心・公德心・自立」に視点を当て、学校生活を見つめ直す取組です。各学年からは、「いじめアンケート集計結果」をもとに、学年としてのいじめ根絶への意識強化を図るための具体的なメッセージが示されました。また、生徒会執行部からは、事前アンケート調査結果を踏まえ、「公共心・公德心・自立」の必要性を演劇を通して訴えかけました。演劇のテーマは、①「時間を守る」、②「忘れ物をしない」、③「あいさつをする」で、その中で自分を見つめ直す機会を設定しました。



これらの取組を通して、生徒一人一人の自覚が高まり、過ごしやすい環境を自分たちの行動でつくっていくものと確信します。



「いのちの大切さ」を考える ～全校道徳(講演会)～



12月16日(金)、生徒会主催による全校道徳が「白倉 裕美子」氏を講師に招き、開催されました。

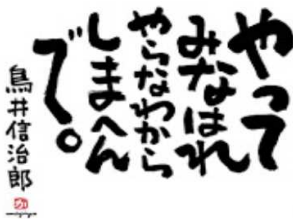
平成15年9月1日に、当時14歳(中学3年生)であった長女が自転車で登校中、トラックにはねられ死亡する被害に遭いました。(「学校便り/11月号」参照)

講演の中で話されたことの一部を紹介します。

- 「普段通り家を出た。5分も経たないうちに・・・。」
- 父親はその日の朝、「美紗、起きなさい。」といったことを今でも悔やんでいる。(自分が起こさなければ・・・という思いの中。)

- 次女は自分の13歳の誕生日に買ってもらったケーキを前に、「何も、めでたくない!バカじゃないの」と両親にくってかかった。(年上の妹になりたくないという思いがあった。)
- 苦しみを唯一和らげるのは、車という凶器による被害者をなくすこと。その時が必ず来ると思うこと。・・・今だって、立ち直ってなんかいない。立ち直ることはできない。でも、立ち上がることができた。」

ガンバレ受験生!



3年生の三者懇談会が、11月29日(火)～12月2日(金)の4日間行われました。冬休みが終わるとすぐに、願書の提出や私立高校の推薦入試が始まります。慌ただししい時期を迎えますが、日々の学習の積み重ねがすべてです。「やってみなはれ やらなわからしまへんで!」全力で学習に取り組んでほしいと願っています。

寿屋(現サントリー)創業者「鳥井 信治郎」は、どんな苦境に陥っても自身とその作品についての確信を捨てず、そして、たたかれてもたたかれても生き生きとした破天荒の才覚を発揮し続けた人であった。常々、社員には「やってみなはれ やらなわからしまへんで!」と檄(げき)を飛ばしていたそうです。



青翔中の生徒たちの活躍

- バスケ : 胆振中学校選抜バスケットボール新人大会 **男子 準優勝、女子 準優勝**
- テニス : 北海道中学生団体対抗ソフトテニス大会苫小牧地区予選会 **男子団体 第2位**
- 卓球 : 北海道中学選抜卓球大会支部予選会 **男子団体 準優勝、女子団体 優勝**
- ホッケー : NHK杯争奪中学校アイスホッケー大会 **準優勝**
- 吹奏楽 : 北海道管楽器個人コンクール日胆地区予選 中学の部 **金賞 1年女子**
- 中学生の税についての作文 **苫小牧税務署長賞 3年女子、苫小牧青色申告会連合会長賞 3年女子**
- 市民文化祭小中学生書道展 **市長賞 2年女子、市長賞 2年女子**

1月の行事予定

5日(木)	10組学習会(9:30~11:30)	17日(火)	3年学年末テスト
6日(金)	10組学習会(9:30~11:30)	18日(水)	常任委員会
9日(月)	成人の日	19日(木)	全校協議会
	苫小牧フットサル総合選手権予選(青翔)	20日(金)	英語検定
	ソフトテニス冬季研修大会	21日(土)	小泉杯バレー大会(～22日/青翔・明野中)
10日(火)	全道J女子ソフトボール大会(～12日/札幌)		ニッタク杯卓球大会(市総体)
	1年学習会(9:00~11:00)	22日(日)	秦杯卓球大会(伊達)
11日(水)	1年学習会(9:00~11:00)	23日(月)	～24日(火)
13日(金)	拓勇東町こども餅つき・合格祈願餅つき会(14:00/拓勇小)		2年宿泊研修(登別・スキー研修)
14日(土)	拓勇東町こども餅つき・合格祈願餅つき会(8:30/拓勇小)	25日(水)	2年疲労回復休
16日(月)	始業式(午前授業・給食なし) 職員会議	30日(月)	校内研究大会

今学期も本校の教育活動に御理解・御協力いただきありがとうございました。よいお年を迎えられますことを心からお祈り申し上げます。